

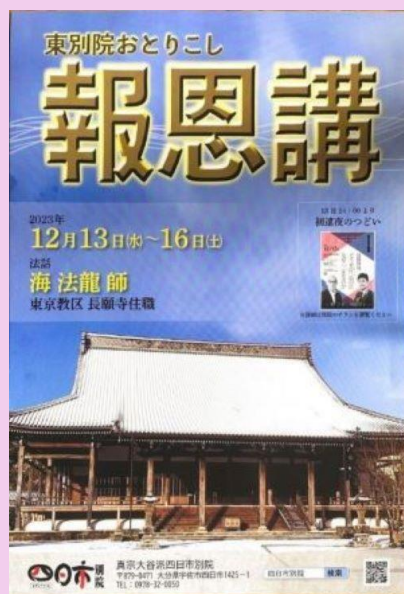
報恩講

日時：令和5年12月15日（金）

場所：大分県宇佐市四日市別院

講師：海 法龍師（横須賀市長願寺住職）

12月13日（水）～12月16日（土）大分県宇佐市にあります、四日市別院にて報恩講が勤まりました。3日目の15日に御門信徒さんと一緒にご参詣してきました。



報恩講とは・・・？

ごしょうきほうおんこう しゅうそしんらんしょうにん
正式には、御正忌報恩講と言います。宗祖親鸞聖人の祥月命日
(ご法事)です。仏教、親鸞聖人から私たちにまで伝えてこられた恩を知り
(知恩)、そして恩に報いる仏事です。

お勤め

お勤めは、一般のお寺で勤めるお勤めを重くしたものと、雅楽が合わさったお勤めで、とても厳かな響きがありました。

販売

縁側では、フリーマーケット、出版物の販売、地域商工会の販売なども行われていました。

御法話

ご講師の先生より、恩を確認するのが、報恩講です。その恩は、本当に人間として生きているのか、一人一人が輝いた命を大切にしているのか、との問いかけです。真実に照らされる事により、真実に背いていた私のあり方が問われたような気がしました。